

長良川河口堰30年シンポジウム

～流域総合水管理から世界流域遺産（仮称）へ～

日時

令和8年3月15日（日）

10:00～17:00（開場 9:30）

会場

ウィルあいち 3階 大会議室

（名古屋市東区上笠杉町1番地）

地下鉄名城線 名古屋城駅 2番出口より東へ徒歩8分

名鉄瀬戸線 東大手駅 南へ徒歩6分



プログラム

10:00～10:05 開会挨拶（愛知県知事 大村 秀章）

10:05～12:00 韓国ナクトンガンの事例

ナクトンガン河口の汽水域創出プロジェクトの実現と大規模河川工事計画との関係
K-water釜山地域事務所 河口統合運用部長 バク・ビョンウ 氏

ナクトンガン河口域の生態系保全・回復に向けた釜山市のイニシアティブ
釜山広域市

ナクトンガン流域・河口域の生態系保全・回復に向けたNGOの取組
洛東江河口汽水生態系復元協議会 共同代表 イ・ジュンギョン 氏

13:00～14:00 健全な水循環・流域総合水管理

健全な水循環・流域総合水管理

東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 蔵治 光一郎 氏

長良川河口堰運用30年の実績と課題
(独)水資源機構

14:10～15:10 環境、生態系、漁業資源

長良川・伊勢湾の生態系の現状と課題

大阪公立大学 国際基幹教育機構 客員研究員 竹門 康弘 氏

世界流域遺産；長良川と木曾川、揖斐川の生態系の現状と課題
岐阜協立大学 地域創生研究所所長 特任教授 森 誠一 氏

15:25～16:55 意見交換

テーマ① 日本と韓国の水循環基本法と水循環政策

テーマ② 河川と海の境界環境としての汽水・感潮域

16:55～17:00 閉会挨拶

総合司会 小島 敏郎 氏